



社団法人 全国脊髄損傷者連合会新潟県支部

新潟県車椅子友の会

発行:事務局
TEL&FAX (025) 387-5136
E-mail:matsu_hako259@tea.ocn.ne.jp

24年度 情報 NO. 3

新潟県車椅子友の会

検索

第36回北越四県ブロック会議新潟県大会を開催しました。

去る、7月8日(日)午後1時より、上越市名立区「ホテル光鱗」を会場に全脊連第36回北越四県ブロック会議新潟県大会を開催しました。梅雨の最中朝は雨もようで肌寒く天候が心配されましたが県外の

メンバーが集まるころには快晴に恵まれ、ご来賓の祝辞と激励の言葉を頂きながら有意義な大会となりました。

式典では、23年度物故者に黙とうの後、新潟県知事、泉田裕彦さま代理:県福祉保健部障害福祉課長/斎藤有子さま、上越市長、村山秀行さま代理:副市長/山岸行則さま。上越市議会議員、瀧澤逸男さま代理:副議長/佐藤 敏さまの祝辞と激励の言葉を頂戴しました。また、新潟県議会議員、村松二郎さま。県身連会長、本田佐敏さまより祝電を頂戴し祝辞を披露しました。さらに、上越市より福祉保健部福祉課長、小菅一彦さま。福祉課相談係長、佐藤美奈子さまがお見えになり会議途中まで傍聴見学をされました。



感謝状贈呈、会場となった「ホテル光鱗」(株式会社ゆめ企画)に大会準備等の協力に対し感謝を込め北越ブロック理事、土谷勉(富山)より代表取締役社長、青木哲也さまに贈られました。

会議では、実行委員の紹介の後、田中弘幸(石川)議長、副議長(福井)の進行で行われました。

本部より挨拶 今回は、本部より妻屋明理事長が電車を乗り継ぎ出席してくれました。本部の現状とともに、道中体験した電車とホームの段差が大きいことや無人駅、駅舎、駅員の対応など交通バリアについて都会と地方の違い等について述べました。



本部提案議題、①平成25年6月7日～9日「第12回全国総会富山県大会」が砺波ロイヤルホテルで開催されるので参加者の要請。②「ピア・サポート事業の実践について」各支部は、自賠責運用益拠出事業として積極的に取り組んでほしい。③支部の公益法人適合に向けて支援



をするので、本部の公益法人化に協力してほしい。

※北越ブロックにおいても各県支部の事業や経

済状況、県補助事業を担っているなど活動状態が違うため、いまだに公益法人化に異論があるのが現状です。

本部に対する要望事項、会場から次の要望がありました。①有料道路や無人の料金所に手



が届かない。おつりが取れない等、不便な器械の改善や人的対応、便利な器具などの開発を進めてほしい。②一般者が購入できる「車椅子マーク」や「四葉マーク」を廃止し、認定された障がい者のみ購入できる登録制度による「新マーク」の開発または、現マークを健常者に販売できないようにしてほしい。③自動車税の他、重量税の減免や免除制度を確立してほしい。④会員メリットのある会、組織の在り方を検討し会員増強に取り組む姿勢がほしい。

懇親会では、地元上越おやじジャズバンド「エ

バー・グリーン」メンバー5人による「スターダスト」「枯葉」「A列車で行こう」など、同年代の会員が多い会場での生演奏によるスイングに車いすダンスを披露する一幕もあり大いに盛り上がりました。

料理や酒も新潟ならではの食べきれないほどのご馳走に舌鼓。日本海に沈む夕日



のオーシャンビューの部屋で満足した皆さんは朝食で



も新潟コシヒカリの釜めしに新鮮な地元の魚や野菜の食材が乗ったお膳を頂き朝食後は、解散となりました。



参加者：富山10名、石川5名（内懇親会まで2名）、福井8名、新潟12名（内会議のみ2名）本部2名。会議42名（内来賓3名、見学2名）懇親会：35名、宿泊33名。